

最近の活動から

2004年2月に総会を開催して平成16年度の活動計画を決定し、4月からは新年度の活動を開始した。今回は総会結果と新年度の分科会活動について報告する。

なお、この4月には、エゾシカによる養鹿で地域に新たな産業に興すことを目指すことを内容とした提言集を発刊した（詳しくは後述）。

1. 総会

平成15年度総会を2004年2月23日に開催し、平成15年度の活動報告・決算報告、平成16年度の活動計画・予算案について審議し、全て原案どおり承認した。

平成16年度の活動は、以下の役員体制で行う。

会長：船越 元	副会長：油津雄夫
幹事長：斉藤和夫	会 計：渡辺千春
幹 事：五十嵐敏彦、伊藤恒雄、板垣恒夫、岩崎元彦	
岡田 操、北越正生、後藤 厚	
須川清一、住友 寛、豊谷勝雄	

なお、平成16年度は、技術士全国大会が札幌で開



写真－1 総会会場

催されるため、現地見学会は行わない。

平成16年度の活動計画は以下のとおりである。

【恒例会】

平成16年度は、地域産業に関連したテーマにより外部講師による勉強会やワークショップにより実施するものとし、開催時期を5月、7月、11月、2月（総会）として年4回実施する。具体的な企画運営は、恒例会実行委員会を4名で組織して行う。

【分科会活動】

(1) エゾシカ分科会

提言集（「エゾシカ飼うべ」4月発刊）の出版を養鹿普及活動のスタートと位置づけ、その普及活動を積極的に進める予定である。また、より具体的なマニュアルやパンフレット作りに向けて研究を続ける。

(2) 地域活性化分科会

基本的には平成15年度活動を継続しての研究を主体として、以下の二つのテーマで活動する。

○「美しい海作り研究」

（美海寿－ミュージズ「海へ」「山へ」「川へ」）

「海」「山」「川」のグループ毎に具体的な対策について研究を行う。

○「寿都ファンクラブ」（共学・共感・共創）

具体的な寿都ファンクラブの立ち上げを行う。

(3) 規制緩和など規制に関わる分科会

当分科会は恒例会その他で問題点の把握と必要性の検討を行ってきた。今後の活動について検討を行った結果、平成15年度をもって活動を終了し、来るべき将来に検討結果を引き継ぐこととした。

2. 特別講演

総会後に特別講演を行った。講師は、食農わくわくネットワーク北海道事務局長の長尾道子さんと、「私が大好きな農村のあれこれ」という演題でお話して頂いた。この日は大荒れの天気で、JRが全面ストップした中で、北広島市の自宅からやっとの思いで到着したとのことであった。

長尾さんは、「北海道の食と農」に興味・関心を持つ人たちのネットワークを作ることを目指して活動を実践されているが、本講演では、「自分がどうして農業を好きになり、どう活動しているのか」について、楽しいスライドとともにお話しを伺った。

講演終了後の長尾さんを囲んでの情報交換会では、北海道農業についての熱い議論が交わされていた。



写真-2 長尾道子氏の講演



写真-3 長尾講師を囲んで議論白熱の情報交換会

3. 分科会活動

(1) エゾシカ分科会

1999年から、エゾシカを対象とした養鹿産業の創生・振興による中山間地の地域振興に関する研究に取り組んで来たが、漸くその一つの区切りとしての提言集「エゾシカ飼うべ」を、2004年4月に発刊した。



写真-4 提言集「エゾシカ飼うべ」

この本は、現在、害獣として邪魔者扱いされている北海道固有種であるエゾシカを、見過ごされてきた「地域資源」として捉え、狩猟や駆除だけの対象としてではなく生きてまますを捕獲し、それを人間の管理下で牛や豚と同じように家畜として飼育し、食肉や袋角の生産を通して北海道らしい新たな産業を生み出そうという夢を、その実現に向けて語ったものである。一部¥1,000で頒布しており希望者は五十嵐幹事(FAX 011-801-2389)まで連絡されたい。

(2) 地域活性化分科会

寿都町の皆さんと一緒に進めてきた地域活性化に向けた研究会活動は、昨年さらさら具体的に活動に入った。5月12日には幹事会を開催し、今年度の「美しい海づくり研究」「寿都ファンクラブ」についての活動方向を、美海寿(muse)プロジェクトとして以下のように定めた。

○「美しい海づくり研究」

地域の「宝さがし」のテーマを、昨年の全体調査結果から定め、地域住民と共に取り組める活性化の芽（フノリ、町民の森等）を探し出す。8月には、それらに基づき地元交流を行うとともに、3グループ（海調査グループ、山・川調査グループ、農地・都市調査グループ）による調査を実施する。

○「寿都ファンクラブ」

「イベント交流」をはじめ、「出前講義としての“自然体験サバイバルキャンプ”（昨年の出前講義が評価され町教育委員会から協力要請が来ている）」、「インターネットによる地域情報発信」、「寿都ファンクラブの組織化」を行う。



写真－5 防波堤から見た寿都漁港

（文責：地域産業研究会幹事 渡辺 千春）